20年不変の日本一安い掛金
火災共済にご加入を

【どけん共済会発】火災共済に加入している仲間と、新規で加入した仲間が応募できる「5組合の仲間で広げようキャンペーン」を実施しています。

期間は、9月1日～12月31日まで。応募していただいた仲間には抽選で255品、豪華賞品エアークリーナー5台をはじめ、自分の好みで選べるカタログギフトや地域の特産品などが当たります。また、地震共済にご加入の方には、地震商品も当たるダブルチャンス！

応募方法は、キャンペーンチラシの裏面に氏名や住所、所属支部等も明記し、アンケートにご協力のうえお申し込みください。なお、氏名のみ記入の応募は無効とさせていただきます。この機会に火災共済加入の仲間は奮って応募してください。

まだ未加入の仲間の皆さん、この機会に20年間変わらない、日本一安い掛金で幅広い保障のどけん火災にぜひ加入しましょう。また、地震が原因の火災被害は、地震共済に入らないと保障されません。生活再建に役立つ地震共済もあわせて加入しましょう。

《応募にあたってのご注意》

●どけん火災共済の加入者のみ応募できます。（地震共済にご加入の方は、地震賞品も当たるダブルチャンス）

●応募は1人1回です。複数の応募は無効となります。

●賞品の発送は2023年2月の予定です。

●抽選の上、当選発表は発送をもってかえさせていただきます。（当選者の権利は譲渡できません）

●応募用紙の提出およびお問合せは所属支部にお願い致します。（ホームページから直接応募もできます）

応募の締め切りは、2022年12月31日までとなります。

ホームページから応募する方はこちら

どけん共済会HP

「情熱職人」と提携
ファミカ提示で10%割引に

【どけん共済会発】この度、9月よりドン・キホーテがプロデュースした作業着専門店「情熱職人」とファミリーカードの提携をすることとなりました。「情熱職人」は、〝カッコいい職人さん〟のためのコーディネートを提案するワーク&カジュアルウェアショップ。作業のしやすさ耐久性の追求やデザイン性、低価格にこだわっています。毎日着用する服だからこそお洒落でカジュアルなコーディネイトを提供します。

ファミリーカードの提示で購入商品の一番高い商品から10%割引が受けられます。共通クーポン付きのチラシ（右参照）を各支部に配布しておりますので合わせてご利用ください。但し、共通クーポンとファミカの併用はできませんのでご注意ください。

対象店舗は、葛西、昭島、久喜、川越、東松山、霧が丘の6店舗限定となります。サービスとして作業ズボンの裾上げ無料での実施、名入れ刺繍・ユニホームへのプリント・ヘルメットへの社名印刷は有料で承っておりますのでお気軽にご相談ください。

前回、「風景の部」で特選を受賞した志賀照夫さん（墨田）の作品

第39回仲間の作品コンクール募集中

【厚生文化部発】今年も恒例の仲間の作品コンクールを開催します。組合員の交流や出番づくりの場とし開催している企画です。

昨年は、180人、全600作品の応募がありました。募集期間は、12月末まで、2月～3月に審査選考を行ない、入選作品を発表します。

今回も文芸の部では①「短歌」、②「俳句」、③「川柳」の3部門とし、一人1部門5作品まで応募できます。

写真の部は、①「組合活動」、②「スナップ」、③「風景」、④「課題」の4部門で、一人1部門3点まで応募可能です。今回の課題部門のテーマは「私にとっての平和」です。あなたにとって平和を感じる瞬間をコメント付きで応募してください。

また作品は、肖像権・著作権に抵触しないように注意してください。

応募用紙は、どけん共済会のホームページからダウンロードするか、支部へお問い合わせください。

たくさんのご応募お待ちしております。

仲間と家族が交流
よみうりランドでBBQ

文京

【文京・書記・太田至豪通信員】8月28日、後継者対策部主催で夏の交流企画「よみうりランドBBQ」を開催。朝から時折強い雨の降る天候となりましたが、春の月間で分会の後継者対策部長になったばかりの仲間も来場し、34世帯96人が参加しました。

各々園内などを楽しんだ後、15時からはBBQ。天候も回復し、菅原委員長の挨拶、横田後継者対策部長の乾杯の音頭で始まりました。

後継者対策部員が各テーブルをめぐり、3年ぶりとなったイベントで交流を深めました。その結果、複数の分会で、新たに後継者対策部長・副部長の候補が誕生。今後は後継者対策部の取り組みに、企画・運営側として活躍していただくことを期待します。

また今年20年ぶりに再建された青年部からも3人の部員が参加。会場に設けられた「青年部席」には、追加のお肉も差し入れられ、大いに交流を図ることができました。

ビンゴ大会では1等から5等まで景品が用意され、ビンゴが出るたびに、こどもたちの歓声が。参加したすべてのこどもたちに参加賞が行き渡り、大変喜ばれました。

夏休み最後の日曜日を仲間と家族が楽しく過ごし、組織強化の面でも着実に前進することができました。

元気一杯、お腹一杯（青年部の仲間たち）

バンジー急っす
想像超えた夏の体験

目黒青年部

【目黒・土木・浅野和輝記】8月7日に青年部の夏レクとして計9人で埼玉県の秩父へ行き、バンジージャンプ等を行ないました。

アトラクションとしてのバンジージャンプの特異性については以前から注目していましたが、実際に体験してみるとそれは想像を超えるものでした。そもそも、高いところから自分の意志で飛び降りて生身の体が地面めがけて落ちていくという経験は死なないとできませんが、生を保持しつつ行なえたので貴重な経験でした。

飛ぶ瞬間には恐怖と同時にエクスタシーが生じ、そこからは対義語として分断された「生」と「死」ではなく、コインの表と裏のように共存している「生」と「死」を実感しました。

そして何よりも、大自然の中みんなで一緒に爽快で、怖く、楽しい時間を共有できたこと自体が嬉しく、次回も機会があれば新たな仲間も連れてやっていきたいです。

バンジーを楽しむ浅野さん